

こちら消防

119

がんばる消防団

消防本部(☎83-0119)

### 「山陽小野田市消防操法大会」を開催します

消防分団の組織再編により、今年4月から各分団は各小学校区ごとに再配備されました。それぞれの名称も校区名にあわせ変更され、消防団は今まで以上に地域に密着した組織に生まれ変わっています。

消防操法大会は、そんな消防団が市民の生命、財産を守るため、安全・確実・迅速に消火活動が行えるよう訓練を重ね、その成果を競うものです。各団員は自分の仕事を持ちながら、これまで厳しい訓練を重ねてきました。大会では、みなさんの地元消防団が優勝を目指して頑張りますので、ぜひその勇姿をご観覧ください。

なお、この大会で優勝した消防分団は9月に行われる山口県消防操法大会に出場することになります。



▲昨年の消防操法大会のようす

### 山陽小野田市消防操法大会の日程

- とき 8月12日(日) 8時15分から
- ところ まつば園グラウンド
- 内容 ポンプ車および小型ポンプを応急操法で競技
- 問い合わせ先 消防本部総務課 (☎ 83-2037)

## えがおのまち 8

### 「相手を思いやる心のゆとりを」

朝の通勤中の光景です。横断歩道の傍らで立っている登校中の小学生。車のドライバーはその小学生に気付いていないのか、気付いても気付かないふりをしていいのか、車は一向に止まる気配はありません。

その日、私はたまたま余裕があったのでしょうか。横断歩道の前で車を止めると、道を横切るように手で促します。小学生はうれしそうに急ぎ足で横断歩道を渡り終え、私に、そして対向車のドライバーにも帽子を脱いで頭を下げます。黄色いランドセルカバーを着けた一年生も上級生の真似をしてお礼をします。わずか10秒余りの出来事でしょうか。朝から小学生の微笑ましい姿を見て、「今日一日、得をした。」とうれしくなります。



大人も子どもも時間に追われる現代社会です。わずか1分、10秒が待てずに、互いの言い分がぶつかり合うこともよくあります。しかし、ちょっとした心の持ちようで気持ちにゆとり

が生まれると、相手の立場や思いも見えてくるものです。一人ひとりが毎日、笑顔で過ごすことのできるまちになるといいですね。

明日から5分早く家を出てみましょう。きっといいことがありますよ。

(社会教育課)



### ⑨ "YES" から始めるまちづくり

今年中には市民のみなさんにその内容をお知らせする予定の「行政改革大綱」については、このコラムで先月もお知らせしましたが、今後の市政改革の"切り札"とも言われるこの改革案の策定には、市職員だけでなく、公募や団体推薦による9人の市民の方にも参加していただき、「行政改革推進審議会」の一員として今年の3月から、ご意見をいただいているところです。民間企業で長年活躍された方、主婦の方など経歴は様々ですが、培ってきた経験から市役所の感覚とは違った視点で、斬新なアイデアが飛び出し、活発な意見交換が行われています。

そこから生まれる意見一つひとつに共通している思いは「改革にあたっては常に"YES"から」ということではないかと感じています。行政はとかく、新たなチャレンジには"二の足"を踏むようなところがありますが、今回の市民の方とともに作りあげた「行政改革大綱」も、そのようなよくなれば"慎重"、悪く言えば"従前通り"の姿勢では、実行力が伴わない「絵に描いた餅」になってしまう可能性があります。まずはその実現を前提に考える積極性、つまり「"YES"からはじめる」という今までにない、市職員の発想の転換が求められているのではないのでしょうか。

審議会の委員のみなさんの熱意に引っ張られる形ではありますが、「行政改革大綱」の策定も大詰めにかかっています。会議の概要に関心を持たれた方は、市ホームページに掲載していますので、ぜひ、そちらもご覧ください。

行政改革課 (☎ 82-1135)